snow peak
natural lifestyle creator since1958

ランドブリーズ ソロ WD シリーズ 取扱説明書

このたびは、スノーピーク製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
安全にご使用頂くためにも本取扱説明書を必ずお読みください。
取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項

フィールドでは予測不可能な事態が突発的に発生し、時にはプロダクツの性能を超えるような状況に直面する場合もあります。以下の説明がすべての危険な状況を説明している訳ではありません。プロダクツの性能をよく理解したうえで安全なキャンプをお楽しみください。

火気厳禁

□このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなど裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化炭素中毒などの恐れがあり大変危険です。
□テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。
□高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。

天気・気象状況

□気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。万一悪天候にみまわれた場合や、風の強い時などはペグや張り綱がしっかりとつながれているかなどを点検してください。
□急な積雪によりフライシートの裾が覆われたり、低温下で氷結したときなど、極端に通気性が悪くなります。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして常に換気をしてください。

運営・設営場所

□風の吹きぬけるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけのよい平坦な場所を選んで設営してください。
□燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなど熱源のそばで組み立てたり、使用しないでください。万一熱源が転倒したり落下しても延焼しない距離を保ってください。
□たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。特に風下側では火の粉を履り、生地に穴をあけてしまう場合があります。
□樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
□テントの設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。
□ペグや張り綱でしっかりと固定してご使用ください。

永くお使い頂くために

スノーピーク製品の優れた品質は正しい取扱いとメンテナンスにより維持されるものです。プロダクツの機能を損なわないためにも、以下のポイントに留意してください。

応急処置

□不測の事態によりフレームや、本体生地が損傷する場合がありますので、リペア用品（ガムテープ、ビニールテープ、添え木になるようなパイプなど）を携行し、速やかに応急処置を施してください。損傷したまま放置すると、大がかりな修理が必要になったり、修理不能になる場合があります。損傷度合いが激しいものは速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
□本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったときは、傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
□フレームが折れたときは速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

撥水・防水性能について

□撥水・防水加工の生地を使用しておりますが、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーをご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
□防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜まりなどと長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。

紫外線の影響について

□本製品はフライシートの生地にUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化や退色を緩和します。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
□テント素材は長期間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
□紫外線の影響と思われる素材の劣化いより、耐久度合を越えたものは修理できない場合があります。

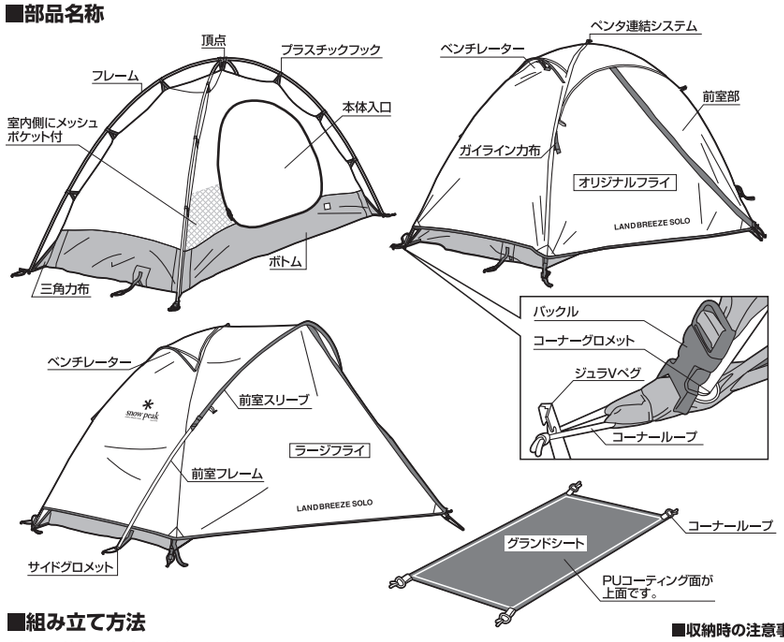
メンテナンス・保管

□濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色うつり、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで汚れを落としてから保管してください。
※フレームを通した状態のままで逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
□フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
□高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
□ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
□小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
□ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
□次回の使用に備え、ペグなどの付属品も含め十分に保守、点検をしてください。

修理について

□本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
□修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
□修理品には修理箇所がはっきりと分るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
□修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は、弊社にて負担いたします。
2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

■部品名称



■セット内容

SSD-501
オリジナルインナー×1、フライシート×1、Xフレーム×2、自在付ロープ（1.8m×4）、ジュラVペグ×6、リペアパイプ×1、本体収納ケース×1、フレームケース×1、ペグケース×1

SSD-511
オリジナルインナー×1、ラージフライシート×1、Xフレーム×2、前室フレーム×1、自在付ロープ（1.8m×4）、ジュラVペグ×8、リペアパイプ×1、本体収納ケース×1、フレームケース×1、ペグケース×1

SSD-521
メッシュインナー×1、フライシート×1、Xフレーム×2、自在付ロープ（1.8m×4）、ジュラVペグ×6、リペアパイプ×1、本体収納ケース×1、フレームケース×1、ペグケース×1

SSD-501-3
オリジナルインナー×1、インナー収納ケース×1

SSD-521-3
メッシュインナー×1、インナー収納ケース×1

SSD-501-2
フライシート×1、自在付ロープ（1.8m×4）、フライ収納ケース×1、ペグケース×1

SSD-511-2
ラージフライシート×1、前室フレーム×1、自在付ロープ（1.8m×4）、ジュラVペグ×3、フライ収納ケース×1、フレームケース×1、ペグケース×1

SSD-401-1
グランドシート×1、収納ケース×1

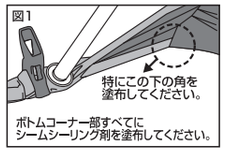
SSD-401-5
Xフレーム×2、フレームケース×1

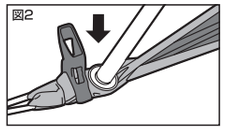
■組み立て方法

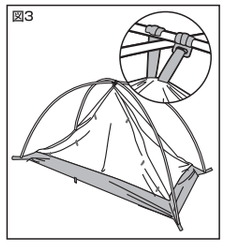
初めてお使いになる前に

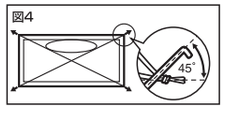
□品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営手順を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
□縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、フライシートのファスナー部分やボトムシートの一部は、製造の都合上或いは構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがあります。必要に応じてあらかじめ縫い目に表と裏からシームシーリング剤（目止め液）を縫い目にそって、塗布してからお使いください（図1）

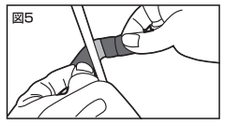
①インナー本体を平らな場所に広げます。
②フレームを伸ばし、接続部分をしっかり連結します。
※接続部分にすき間があかない様に、しっかりと差し込んでください。
③フレームの先端をインナーのコーナーグロメットに差し込みます。（図2）
④反対側の先端をインナーの対角のコーナーグロメットに差し込みます。もう一方のフレームも同じ様に両側をグロメットに差し込みます。
⑤2本のフレームを立ち上げて、インナーの頂点のプラスチックフックをひっかけます。（図3）
⑥インナーに付いている全てのプラスチックフックをそれぞれのフレームにひっかけます。
⑦4端を軽く引き、コーナーループにペグを通し、打ち込みます。（図4）
⑧フライシートを被せます。
※ラージフライの場合は、前室フレームを伸ばし、接続部分をしっかり連結します。フライシート前室のスリーブに前室フレームをゆっくりと送り込み、フレームの両端を、サイドのグロメットに差し込みます。
⑨フライの内側に付いている、ずれ防止のベルクロテープ（頂点とガイライン力布部）をフレームに巻き付けて固定します。（図5）
⑩フライシートとインナー本体に付いているバックルを接続し、テープを引いてテンションを掛けます。
※ラージフライの場合は、前室スリーブに付いているプラスチックフックもインナーのフレームにひっかけます。
⑪前室、後室の先端を引き、ループにペグを通し、打ち込みます。
⑫各張り綱を伸ばしペグを打ち込みます。自在を引いてテンションをかけます。
※テープやループは引きすぎにご注意ください。生地やファスナーに負担がかかり破損する恐れがあります。











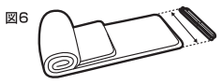
■収納時の注意事項

□フレームをグロメットから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
□フレームをグロメットから外す際は、プラスチックフックをつけたまま外してください。（全てのフレームをグロメットから外した後、プラスチックフックを外してください。）
□スリーブからフレームを取り出す際は、押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあります。必ず押して出してください。外れた連結部で生地を傷めることがあります。
□フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。端から折り畳むとショックコードに負担がかり伸びや切断の原因になります。

■ケースへの収納

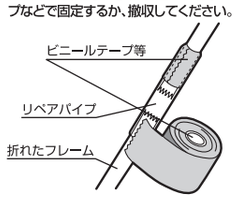
□本体収納ケースの長さに合わせ、本体、フライシートを折り畳み本体収納ケースの中に入れます。（図6）
□フレームやペグはそれぞれ付属の専用ケースに入れます。むきだしの状態で収納すると本体生地を損傷することがあります。

図6



■応急処置

□フレームが折れたときは速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。



■品質保証について

スノーピークのプロダクツは、フィールドで確実に機能するためにフィールドテストからスペックが決定し、長期間にわたって使い込んでいただけるような品質管理がなされています。
万一、明らかに製造上の欠陥による問題が生じたときは、無料で修理又は新品と交換させていただきます。尚、修理または交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下のような破損につきましては保証できませんのでご了承ください。

1.不測の事故による製品の破損
2.誤った使い方や粗雑な扱いによる製品の破損
3.経年変化や紫外線の影響による素材の劣化
4.その他製造上の欠陥以外による製品の破損
5.改造品の破損

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
スノーピーク ユーザーサービス係
0120-010-660（9:00～17:00）
E-mail:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA